

目標	施策	本市における、令和６年度実施事項
目標Ⅰ：みんなが使いやすい公共交通にします	施策Ⅰ-1 【重点】公共交通の路線・ダイヤなどの見直し	鉄道等への乗り継ぎを考慮し、グリーンのダイヤを見直す。
	施策Ⅰ-2 【重点】半田病院の移転に伴うバス路線などの在り方検討	2025年4月の半田市立半田病院の移転に向けた、常滑市民病院までの病院間移動を踏まえた移手段の検討を行う。
	施策Ⅰ-3 オンデマンド交通の導入検討	国交省が公募した、共創モデル実証運行事業を活用した実証実験を実施し、実証実験の結果を踏まえ、今後のオンデマンド交通の導入可能性を検討する。 ※協議事項（３） AIオンデマンド交通実証実験について
	施策Ⅰ-4 誰にでも分かりやすく豊富な情報提供	（継続実施）公共交通の利用者の利便性の向上のため、グリーンバスロケーションシステム、とこNAVIによる情報提供を行う。
	施策Ⅰ-5 鉄道やバスの利用環境などの向上	バリアフリー化を推進するための以下の対応をする。 1 バス停移設時等における縁石の撤去を行う。 2 （継続実施）グリーンのノンステップバスによる運行及び車椅子対応（固定装置）を継続する。
	施策Ⅰ-6 移手段を確保するための取組みの維持	（継続実施）あらゆる人の移手段を確保するため、路線バス運賃助成やタクシー料金助成利用券交付を行う。
目標Ⅱ：公共交通を活かしてまちを元気にします	施策Ⅱ-1 【重点】空港島から市街地への誘客の促進	宿泊税を用いて、愛知県国際展示場・空港島ホテルから、イオンモール常滑などの集客施設から、市内の観光スポットや飲食店などへのアクセス向上を図るための無料シャトルバスの導入に向けた実証実験を行う。 ※報告事項（３） 宿泊税を活用した無料シャトルバス実証実験について
	施策Ⅱ-2 オンデマンド交通の活用検討(再掲：施策Ⅰ-3)	
	施策Ⅱ-3 目的地と連携した公共交通の利用促進	無料シャトルバス（愛知県国際展示場～常滑駅・やきもの散歩道間等）実証実験実施時や、とこNAVIアプリにおいて、市内の飲食店等へのクーポン配付をし、公共交通利用に対するインセンティブ付与を行う。 ※報告事項（３） 宿泊税を活用した無料シャトルバス実証実験について

目標	施策	本市における、令和6年度実施事項
<p>目標Ⅲ：地域の公共交通の危機を乗り越え、崩壊を防ぎます</p>	<p>施策Ⅲ-1</p> <p>【重点】公共交通の確保・維持に向けた取組みの実施</p>	<p>公共交通の確保に向けた以下の対応・検討</p> <p>1（継続実施）知多バス 半田常滑線に対する国庫補助金のための生活交通確保計画の作成・提出</p> <p>※報告事項（7） 知多バス半田常滑線 令和7年度生活交通確保事業について</p> <p>2 コミュニティバスに対する国庫補助メニューの検討・課題整理</p> <p>3 グルーンと他の交通機関を組み合わせた効率的な公共交通網の構築を目指し、グルーンの路線・ダイヤの見直しを行う。</p>
	<p>施策Ⅲ-2</p> <p>【重点】グルーンの持続可能な在り方の検討</p>	
<p>目標Ⅳ：地域のみんなで、自分たちの公共交通を創ります</p>	<p>施策Ⅳ-1</p> <p>【重点】地区における自主的な移動手段の導入検討</p>	<p>青海ボランティア隊による、無料住民電動小型モビリティを用いた、青海山団地をモデル地区とした自主的な移動手段に係る実証実験を行う。</p> <p>※報告事項（4） 近距離移動モビリティ貸出実証事業について（青海ボランティア隊）</p>
	<p>施策Ⅳ-2</p> <p>多様な主体との連携</p>	<p>地域をあげて公共交通を確保・維持するとともに、公共交通を市民などの利便性の向上や地域の振興につなげるため、市民、交通事業者関係者、行政、その他関係者が連携して取り組む。（再掲：Ⅱ-3、Ⅳ-1）</p>
	<p>施策Ⅳ-3</p> <p>公共交通の利用促進に向けた啓発などの実施</p>	<p>地区に対しての、公共交通（実証実験として行うオンデマンド交通も含む。）の乗り方や、公共交通施策等に関する説明会等を実施し、利用の促進を図る。</p> <p>説明会：民生委員児童委員連絡協議会（R6.7）等</p>
<p>目標Ⅴ：先進的な取組みにチャレンジしモデル都市を目指します</p>	<p>施策Ⅴ-1</p> <p>【重点】自動運転バスなどの実証実験の実施</p>	<p>（継続実施）交通事業者の人手不足が深刻化する中、地域の公共交通を維持・確保するため、補助金を活用しながら、自動運転バスの実証実験を行う。</p> <p>※報告事項（2） 自動運転バス実証実験について</p>
	<p>施策Ⅴ-2</p> <p>新たな技術・サービスなどの調査・研究の実施</p>	<p>公共交通に係る新たな技術やサービスについての情報収集</p>

## (参考) 基本方針に基づく計画目標とモニタリング時期

常滑市地域公共交通計画に記載の基本方針に基づく計画目標とモニタリング時期については、以下に記載のとおりです。このうち、「鉄道駅の利用者数」、「知多バスの利用者数」、「知多バスの総走行距離」、「タクシーの総実車走行距離」等、関係の皆様から資料を提出いただきたいので、御協力をお願いします。(第3回の協議会開催に合わせ、常滑市地域公共交通協議会が協議会運営支援業務を委託している日本工営都市空間(株)から、データ提供依頼する予定です。)

なお、公共交通の人口カバー率は、人口データとして活用している国勢調査の最新データが公表された際や、市内公共交通の再編がされた際に、随時モニタリングを実施し、直近の協議会で報告します。

目標	評価指標	基準値	目標値	モニタリング時期
目標Ⅰ：公共交通を本市の「まちの骨格」に位置づけます	-	-	-	-
目標Ⅱ：みんなが使いやすい公共交通にします	公共交通に対して不満ではない人の割合	73.2% (R5年)	80.0% (R10年)	R10年度にアンケート調査実施・報告
	公共交通の人口カバー率	73.6% (R5年)	80.0% (R10年)	国勢調査の最新データの公開時、市内公共交通の再編がされた時
目標Ⅲ：公共交通を活かしてまちを元気にします	鉄道駅の利用者数	17,500人/日 (R4年)	22,800人/日 (R10年)	各年度末の協議会で報告
	知多バスの利用者数	880人/日 (R5年)	970人/日 (R10年)	各年度末の協議会で報告
	グルーンの利用者数	1,030人/日 (R5年)	1,130人/日 (R10年)	各年度末の協議会で報告
	観光地周辺のバス停利用者数	30人/日 (R5年)	40人/日 (R10年)	各年度末の協議会で報告
目標Ⅳ：地域の公共交通の危機を乗り越え、崩壊を防ぎます	知多バスの総走行距離	554km/日 (R5年)	554km/日 (R10年)	各年度末の協議会で報告
	グルーンの総走行距離	876km/日 (R5年)	876km/日 (R10年)	各年度末の協議会で報告
	タクシーの総実車距離	63km/日・台 (R4年)	63km/日・台 (R10年)	各年度末の協議会で報告
目標Ⅴ：地域のみinnで、自分たちの公共交通を創ります	高齢者などを対象とした公共交通セミナーなどへの参加者数	未実施 (R5年)	150人/年 (各年)	各年度末の協議会で報告
	75歳以上の人のうち、公共交通利用頻度が週1回以上の人割合	5.3% (R5年)	10.0% (R10年)	R10年度にアンケート調査実施・報告
	公共交通について地域で考える自主組織の数	1団体 (R5年)	4団体 (R10年)	各年度末の協議会で報告
目標Ⅵ：先進的な取組みにチャレンジしモデル都市を目指します	新たな技術を活用した公共交通に関する実証実験の件数	2件/年 (R5年)	2件/年 (各年)	各年度末の協議会で報告
	公共交通で常時運行するEV・FCV車両の導入台数	6台 (R5年)	増加 (R10年)	各年度末の協議会で報告
	常滑版MaaSアプリ「どこNAVI」のアクセス数	未実施 (R5年)	60,000回/年 (R10年)	各年度末の協議会で報告